

別表第2

1 評価基準

A	達成されている。
B	ほぼ達成されている。
C	あまり達成されていない。
D	達成されていない。

自己評価シート

自己評価数 23名

2 評価項目

(1)学校の全体について

学校の全体について			R8 1学期				R7 2学期	
評価の対象	評 価 内 容	評 価 の 着 眼 点	評価	割合	所見・感想	評価	割合	
① 学校の姿	学校の教育方針や情報などが、学校報などで保護者(地域)に分かりやすく伝えられているか。	●学校の指導方針がわかりやすいか。 ●学校の情報が、分かりやすく伝えられているか。	A	82.6	・定期的に校長室だよりが発行されている。	A	85.0	
			B	17.4		B	15.0	
			C	0.0		C	0.0	
			D			D		
② 児童・生徒の姿	学校生活において、児童は生き生きと活動しているか。	●学校行事において協力し合って活動しているか。 ●生き生きと活動しているか。	A	56.5		A	40.0	
			B	43.5		B	60.0	
			C	0.0		C	0.0	
			D			D		
③ 教職員の姿	教職員は、お互いに協力しながら児童の指導をしているか。また来校者に誠実な対応をしているか。	●学校行事において協力し合って指導している場面が見られるか。 ●進んであいさつや、言葉かけをしているか。	A	95.7	・職員は能動的に職務の遂行にあたっている。	A	80.0	
			B	4.3		B	20.0	
			C	0.0		C	0.0	
			D			D		
④ 学校の環境整備	学校内外の環境整備が行き届いており、児童が快適で安全に学校生活が送れるようになっているか。	●環境美化に対する配慮が見られるか。 ●学校全体が、整理・整頓されているか。 ●学校全体の安全が確保されているか。	A	47.8	・空調設備(エアコン)が、クラスのみで、その他の場所に設置されていない。 →活動場所を適宜変更するなど、熱中症対策に努める。	A	50.0	
			B	47.8		B	45.0	
			C	4.3		C	5.0	
			D			D		

(2)授業の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑤ 児童・生徒の姿	児童が学習内容を理解しようと意欲を持って学んでいる様子が見られるか。	●授業中、教師の話や友達の発表をしっかりと聞いているか。 ●学習ルールが守られ、良い雰囲気での学習しているか。	A	56.5	・担当学級の児童は、みんな、待つことや聞くことに課題がある。 →児童の発達段階や個々の特性に応じた指導に努める。	A	35.0
			B	43.5		B	60.0
			C	0.0		C	5.0
			D			D	
⑥ 教職員の姿	児童が学習内容を理解できるようになりやすい授業であるか。	●児童一人一人に言葉かけをするなど適切な指導の工夫をしているか。 ●授業の内容が黒板にわかりやすく書かれているか。	A	39.1	・担当特別支援学級では、一人一人に言葉かけや指導が行き渡らないことがある。黒板は学年によって使ったり、使わなかったりしており、ミニボードやプリントで代用している。 →全体への指導だけでは不十分な児童をしっかりと見取り、個に応じた支援や指導に努める。	A	55.0
			B	60.9		B	45.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	

(→裏面へ)

(3)授業以外の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑦ 児童・生徒の姿	児童は、集団生活に必要なきまりや約束を守っているか。	●元気にあいさつができていますか。 ●登下校時等には、正しい服装や決まりある行動をしているか。	A	21.7	・昨年度までと比較し、挨拶を返す児童が多い。 ・担当学級の児童は、まだ、シャツが出ていたり、くつを履かなかったりするが、挨拶はできている。 →機会をとらえ、挨拶についての指導を継続するとともに、児童の自主的な取組となるようはたらきかける。	A	30.0
			B	78.3		B	60.0
			C	0.0		C	10.0
			D			D	
⑧ 教職員の姿	教職員は、児童の手本となる言動を行っているか。	●児童に対し、正しい言葉づかいがされているか。 ●T P Oに応じた服装をしているか。	A	65.2	自分は叱る時の言葉がきついつと感じるので改善したい。	A	50.0
			B	34.8		B	50.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	

(4)保護者・地域との連携について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑨ 教職員と保護者との関係	教職員は、保護者や地域の方と連携しているか。	●学校は、地域の活動に協力的であるか。 ●教師と保護者の関係は良好か。	A	73.9		A	70.0
			B	26.1		B	30.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
⑩ 教育活動の地域活用	学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用しているか。	●学校は、地域の(歴史、自然)を活用しているか。	A	78.3	SSTRやイカリモンハンミョウなどの取組、歴史体験やまち探検なども行っている。 →西北台小学校との統合により広がった校区の資源を有効に活用できるよう、各種取組の工夫・改善に努める。	A	75.0
			B	21.7		B	25.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	

(5)独自の特色ある教育活動について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑪ 市基礎学力調査	数値目標の達成に向け、具体的取組や指導法の改善が行われているか。	●結果の分析を行っているか。 ●結果を生かし工夫改善をしているか。	A	73.9		A	80.0
			B	26.1		B	20.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
⑫ 教育活性化プラン	数値目標の達成に向け、具体的取組が行われているか。	●日常的に英語を使おうとしているか。 ●ICT活用に積極的に取り組んでいるか。 ●人材育成に向けて、組織的に取り組んでいるか。	A	82.6	担当学級では、金曜日の朝自習やきほんの時間に英語学習に取り組んでいる。ミニゲームやフラッシュカードが人気である。 →各種取組を継続し、日常的に英語に親しむことができるようにする。	A	80.0
			B	17.4		B	20.0
			C	0.0		C	0.0
			D			D	